

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2010年12月15日 第45号
 Tel 592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

わかまつ9条の会が結成6周年の総会開催!



11月3日は憲法公布から64年目、そして「わかまつ9条の会」結成6周年目の日だった。同日は「憲法改悪反対北九州共同センター」運営委員の前田憲徳弁護士を招き、「国家の安全保障から人間の安全保障へ」の演題で講演した。

集会冒頭で「憲法前文」「憲法九条」を参加者全員で朗読した。「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは、全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

朝日新聞記者・伊藤千尋さんの講演で「アフリカ沖の島に『ヒロシマ・ナガサキ』という名前の公園がある」「日本国憲法九条を模した条文を掲げた憲法を持つ国がある」とは聞いていた。だが、国連の行動計画に日本国憲法前文が行動規になっている話は初めて。

日本国憲法ができた時から「世界の規範」だったのだろう。その憲法をわたしたちは持っている。前田弁護士は浦部法穂さんの「憲法学教室」(日本評論社)を教材にして話を進めた。

「安全保障」というと日米安保改定50年の今年、武力による「安全保障」と思いがちだ。だが「人間の安全保障」はこの考えの真反対の全世界の人々が安心して暮らせるためのもの、という。

94年発表された、「国連開発計画報告書」には「人間の安全保障」を構成する要素は「恐怖からの自由」と「欠乏からの自由」の二つを挙げている。普通の生活を望む市民にとっての安全保障は「病気や飢餓、失業、犯罪、社会の軋轢、政治的弾圧、環境災害などの脅威から守られること」にほかならない。報告書には「いまこそ国家の安全保障の狭義の概念から『人間の安全保障』という包括的概念に移行すべき」とも書かれている。同報告書の記述「恐怖と欠乏からの自由」は、日本国憲法前文だ。64年前に公布された憲法が「世界の潮流」だということだ。

「平和」や「安全保障」を「国」の問題と捉えるなら「恐怖と欠乏から免れて生存する権利」を「平和的生存権」の内実とする発想は出てこない。日本国憲法は「国家の安全保障」ではなく「人間の安全保障」という発想に立っている、と浦部氏。

「人間の安全保障」は経済問題や南北問題にも切り込んでいる。「恐怖と欠乏からの自由」は国の枠を超え考え、行動する時、と前田弁護士は説明した。「憲法をどう使うか」が求められていると痛感した。(藤本修子記)



湯川・葛原9条の会が発足総会

11月27日(土)10時から、湯川市民センターで、「湯川・葛原9条の会」の発足総会が開かれました。これまでに3回の準備会を経ての結成総会です。足達山の山麓には、紅葉も見られ、晴天の中美しい風景が会場の窓に広がるすばらしい部屋で始まりました。30名ほどの地域の方の集まり、最初



は、「うたごえ10号線」の皆さんにより、まずは合

唱、次に、縄田浩孝弁護士による講話「幸せに生きる事と憲法」がありました。縄田弁護士は、「憲法13条の幸福追求の権利がとても大切。人々が、人生を幸せに生きる事が憲法の存在意義。幸福に生きるための命、これは平等。この命を保障する事を究極の目標としている憲法は、そのための体系を持つ。9条はその中にある。命を守る事、そのためには戦争状態にならぬようにすること。それを憲法は国に求めている。この憲法のすばらしさを国民に広げる事が必要」と話しました。参加者は、この話に共鳴していました。参加者の発言、総会の代表に決まった堀田弘城氏の挨拶などの後、司会の筒井さんがまとめをして、結成総会は終わりました。今後の運営は役員会で話し合うこと、当面の行動として、12月9日11時から城野ダイエー前での憲法宣伝が決まりました。(野瀬秀洋記)

海兵隊は抑止力ではない。9条こそ絶対的抑止力だ！ ——折尾9条の会第6回総会——

11月28日(日)午後1時30分より、折尾駅前のオリオンプラザにて『憲法を守る折尾の会』の第6回総会を開催しました。

他9条の会の来賓を始め 31 名の方々の参加をいただき、予定通り終了することが出来ました。

総会は竹下代表の挨拶で始まり、「金山川9条の会」及び「水巻9条の会」の代表による来賓の挨拶を頂きました。その後すぐの記念講演では、日本平和委員会常任理事であり福岡県平和委員会事務局長の酒見辰正講師から、冒頭北九州憲法ネットを代表しての来賓挨拶をされ、すぐに《普天間基地問題にどう憲法9条を活かすか！》と題して講演を始められました。

内容は、“日本における「米軍再編・日米同盟」強化の動き”や、“自衛隊の変貌”、更に“全国的な

運動と戦いで普天間基地の無条件撤去”について一〇一〇かみ締めるように、解りやすく丁寧に講義されました。最期に酒見講師は「平和とは守るのではなく、平和はつくるものだ」と、したがって「世界の宝(憲法九条)も磨かないと輝かない。輝かせるために平和を求める運動が必要である」と力説されました。

終了後質問が数多く出され、それに対し酒見さんが丁寧に答えました。参加者のアンケートには「講演内容は専門的なものでしたが、とても解りやすく聞くことが出来ました。」「具体的で非常に解りやすく、聞けば聞くほど味が出るものでした」「酒見さんを囲んで年に1~2回学習座談会を開催しては」等の意見がありました。

講演後の総会では、今年の総会後の経過として、

月2回の
定期街頭
署名・月
1回の地
域宣伝行
動・毎月
の会報の
発行等事
務局の苦
労話や署
名に対する
高校生の
反応のよ
さ



等について話されました。ちなみに会報の発行は63号に達し署名数は7,620筆、事務局会議も毎月定例化し77回を数えています。財政報告では単年度で見ると赤字であり、会費を徴収していない本会はカンパが頼りと。向こう1年間の運動方針では会員を150名に、署名は9,000筆に、更にミニ学習会の開催を提案し了承されました。(中島洋一折尾9条の会事務局長)

八幡東区で、第2回「平和まつり」を開催

9月25日(土)中央二丁目のレインボープラザ前広場で「平和の秋まつり」がおこなわれました。八幡東九条の会も、他の11団体とともに実行委員会に



参加して準備をしてきました。

この日、これまでの猛暑も去り、開会時刻の四時に

は日差しもやわらいで、広場の参加団体のテントでは青空検診や飲食物などのバザーが出店しました。またボードには広島、長崎の被爆写真や八幡製鉄所建設前後の写真も掲示されました。

新聞折りこみで見た方や、通りがかりの市民も広場にきて写真を熱心に見ていました。

八幡東九条の会は九条の会アピールや、ポスター大の会紹介のポスターを手作りして掲示しました。



テント内にはテレビとDVDレコーダーを設置して、「八幡製鉄所空襲」「北九州の空襲」「アメリカ調査

団による空襲後の八幡製鉄空撮」の記録映像をエンドレスで上映しました。

九条の会ブースで、記録映像を熱心に観ていた青年(新日鉄勤務)に感想を願いました。

「初めて映像を観た。今の八幡製鉄の光景とあの当時の痛ましい光景に落差を感じた。貴重な資料なので、ずっと大切に多くの人に伝えていかなければならないと思う。自分を含めて、これからの世代にこういう痛ましいことが二度と起きないように、平和であってほしい」と、貴重な感想を頂きました。

広場の健康チェックブースでは、骨密度や血管年齢などの結果を見て、みなさん一喜一憂しています。飲食バザーのブースで、おでんとコーヒーを手にして、まずは舞台の前に座りました。舞台では主催者挨拶(八幡原水協事務局長・島崎さん)につづいて、青い空合唱団のうたごえで幕開きです。「ん?ソプラノの声が聞こえない」途中でソプラノのマイクが入っていないことに気付いて、あわててスイッチを入れるというハプニングが会場の笑いをさそいました。新婦人によるフラダンスでは、踊っているみなさんは、ひときわ若々しく楽しそう。(八幡東九条の会ニュース 10月21日 第23号から)



「もやもや」の漂うこの頃考えること その1

9条の会・憲法ネット座長 荒牧 啓一

「ムカつく」「キれる」「疲れる」・・・これが、現代日本人を襲う三大症状。温厚、温和、勤勉な、かつての日本人の姿は、そこにはありません。サラリーマンの5割、OLの6割が「抑うつ」など、何か心の病気を抱えている—という報告にア然とします(船瀬俊介、「テレビCMの派手な商品にご用心」)

かつての企業支配社会、終身雇用制・年功序列賃金の時代から、新自由主義の元、構造改革、規制緩和、非正規雇用の増大、格差社会の悪化、おびただしい数のワーキングプアの増加。社会の矛盾、国民の怒りは頂点に達していた。そんな最中、昨年8月の衆議院選挙、憲政史上初の国民の手による政権交代を実現した。政権与党になった民主党は、企業献金禁止、労働者派遣法の改正、後期高齢者医療制度の廃止、障害者自立支援法の廃止など等、そのマニフェストはテレビCMさながらに、夢と希望と愛をかなえてくれそうな内容でした。

多くの国民は、これで政治が変わる、社会が変わると本当に夢と希望を持ちました。しかし、国民の期待が打ち砕かれるのには時間はかかりませんでした。国民世論には背を向け迷走に迷走を重ね、とりあえず日米同盟堅守、アメリカには従属していこうという姿勢だけは明白にしました。民主党は今や、企業献金再開、消費増税打ち上げなど自民党と同じ体質であることを露呈しています。

これでは、国民が「ムカつく」「キれる」「疲れる」のも納得です。更に、閉塞感が漂います。細る暮らし、経済と政治の混迷、領土をめぐる隣国との軋轢、隣国を敵に回すような言論も目立ちます。尖閣列島のビデオ流失を支持する世論・・・しかし、此処で憲法9条の「武力の行使、武力による威嚇は国際紛争の解決の手段としない」、「不戦の誓い」を忘れてはいけません。

このような社会に閉塞感がただよう時、人々の「もやもや」「うっぴん」を晴らす「英雄」の出現を望む声が出てきます。大阪府や名古屋市、阿久根市の首長のパフォーマンスが無批判にマスコミに取りざたされていますが、危険な兆候です。市民の多くの支持を得ている自分の政策・考え方が正しい、それに反対する政策・意見を「保守・反動」「アカ」などのレッテルを貼り排除、弾圧すると独裁政治につな



がります。

民主主義は、多数決だけではありません。多種多様な考えや意見の存在を許容する社会のことです。今日の少数意見が明日の多数意見になることを認める社会、仕組みのことです。民主主義の実現のためには、多種多様な意見の存在を知らなければいけません。北朝鮮や中国については、自由がない、表現の自由も確保されていないといえれば賛同される方は多いでしょうが、「日本も大企業や国家にとって都合の悪い情報は規制されている」というとどうでしょうか？

先に引用した私の友人の船瀬俊介氏の「テレビCM・・・」はCM戦略を分析し、①3B戦略「ビューティー」「ベイビー」「ビースト(動物)」を登場させることで本能的に目線をひきつける。②後光(ハロー)効果、有名人を起用することで、その人物の業績・名声に便乗し、商品をアピールする。③シズル感、ピールなら「ジューワー」焼肉なら「ジュー」といった臨場感いっぱいの場面をリアルに映像化し、視覚にダイレクトに訴える。こうして、消費者を心地良いマインド・コントロールの世界に誘い、判断力、思考力を麻痺させて、買わせる、食わせる、使わせる・・・洗脳の世界といえます。政治の世界はどうでしょうか？

民主党は、無駄使いを止める、公務員数削減、公務員の給与を削減などの公約実現の一環として、国会議員それも衆議院議員の比例の定数を180から100に削減すると言っています。みんなの党も賛成しています。しかし、日本の国会議員の数は本当に多いのでしょうか？比例定員80削減の裏には何か陰謀はないのでしょうか？皆さん考えて見ましょう。

63年ぶり「平和おどり」京都で憲法集会 次世代へ伝えたい

日本国憲法の公布から64年を迎えた3日、京都市東山区の円山公園音楽堂で「生かそう憲法 守ろう9条 11・3憲法集会in京都」(憲法9条京都の会主催)が行われ、講演と憲法の施行を祝った「平和おどり」が63年ぶりに再現されました。

集会には、市内4コースから求心パレードなどで参加した1400人が集いました。



「平和おどり」は日本国憲法の普及を目的に京都市民からの公募でつくられたも

ので、1947年5月の施行を前に同会場で市民3万人が踊ったとされています。

当時集会に参加し、「もう死なんでもいい。平和というものを体感した」と話す女性(79)＝京都市中京区＝が、「平和の原点を見つめ直したい」と8

月から資料を探し、当時を知る市民らの協力を得て実現しました。

会場では、集会参加者と一体となり、当時さながらに「平和おどり」が再現。女性は、「おどりをきっかけにして、若い人に戦争体験や憲法について伝えていきたい。ぜひ集まりに呼んでほしい」と話しています。

高校生の娘と参加した女性(八幡市)は、「おどり再現の思いを聞き、感動した。私も戦争を知らない世代ですが、若い子に語り継がなくてはいけないと思いました」と話していました。

「比例定数削減は民主主義の危機」と題して講演した立命館大学の小堀眞裕教授は、日本が世界で3番目に国会議員の数の少ない国であることや、少数意見を反映しない小選挙区制度を見直す動きがイギリスでも起きていることを紹介。「少数の声を反映しない制度や定数削減は、世界の流れに逆行する」と批判しました。(2010年11月4日(木)「しんぶん赤旗」から)

9条の会東京連絡会が「東京9条まつり」

去る11月13日(土)、東京都大田区の産業会館PiOにて「東京9条まつり」が開かれました。これは東京で憲法9条を守る運動、さらには平和・民主主義・人権などの課題に取り組んでいる個人や団体が一堂に会して、自ら主人公となって発信し、より多くの人々をつながり合うための企画で、6階建の会館を1日全館貸切りにしました。

1階の大展示場はブース出店と演芸ステージ。東京各地の九条の会をはじめ、ピースボート、法学館、東京AALA、許すな!憲法改悪・市民連絡会、出版各社などなど、58団体が78ブースを出店し、また演芸ステージではエイサー、マジ

ック、ダンス、音楽、民謡、コントなどが演じられました。

2階のメイン会場ではジェームス三木さんと小森陽一さんのビッグ対談と日野原重明さんの特別スピーチ。この他にも全館で高橋哲哉さん、山内敏弘さん、杉原泰雄さんの講演会、基地問題や貧困問題の報告・鼎談・討論会、朗読や合唱、ジャズやクラシックのコンサート、映画上映会、寄席、地域の歴史と運動を発掘・紹介する展示など、合計32もの企画が様々な団体によって催されました。

小学生から99歳までの出演者に3000人を超える来場者。会館は文字通り多種多彩な催しの

デパートとなり、終日熱気にあふれていました。参加者からは「とてもにぎやかで楽しかった」「これほどの祭典、できれば2日間かけてやって欲しい」「草の根を実感できた」「勇気の出る会でした」などの感想をもらいました。

この「まつり」は「九条の会東京連絡会」の呼びかけで多数の九条の会が中心になって実行委員会を作り、毎月1回のペースで会議を開き、約1年かけて準備してきました。これほどの大型企画は東京の九条の会の運動としても初めての経験です。毎月の会議でも、最初は「できるかなあ」というとまどいが何度も出されましたが、次第に「何としてでも成功させよう」という意気込み

変わり、参加者数も当初の20数人から後半には50数人へと増えました。先日(11月29日)最後の実行委員会を開きましたが、そこで次のような総括の声が出されました。——この「まつり」は、九条運動を今後さらにひろげるための一里塚である。この取り組みと通じて東京で九条運動に取り組む人々のネットワークが広がり、その結びつきが強まったことこそ、今回の「まつり」で得た宝物である。今回の経験と成果を生かして今後も「前進、さらに前進」(日野原重明さんの特別スピーチより)していきたいと思えます。(九条の会東京連絡会HPから)

編集後記～朝鮮半島情勢に関する「GPPAC東北アジア」の声明

紛争予防のための国際的NGO「武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ(GPPAC)東北アジア」は今日(12月2日)、朝鮮半島情勢に関して声明を発表しました。先週の砲撃事件以後、ソウル、東京、北京、上海、台北、ウラジオストックのNGOが緊密な協議の結果、電話(スカイプ)会議をもち、このたびの声明をまとめました。日本語訳はまだできていませんが、主要な6点の呼びかけは以下の通りです。

- ① 今すぐあらゆる軍事行動を止めること。
- ② 対話のための作業を開始すること。
- ③ 事件で何が起きたのかを調査すること。
- ④ 軍備競争に走らないこと。
- ⑤ 非武装地帯を設置し拡大すること。(2007年10月4日の南北サミットは、今回の紛争地域[海上]に平和協力地域という名の非武装地帯を設置することを求めている。それを実施すること)
- ⑥ 市民社会が重要な役割を果たすべきこと。

以上ですが、このような国境を超えた市民の動きがあることも注目していいと思います。(T)

☆☆☆「九条の会」メルマガ詳細版 2010年12月10日 第108号から☆☆☆

カンパ有難うございます。引き続きカンパをお願いします。

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。

カンパ 9月 小池正信 丹下徹 野瀬秀洋 棚次奎介 清松賢治 小倉東総合法律事務所 有馬正夫 木村玲子 戸田正臣 柴田武一郎 玉井史太郎 塩塚茂嘉 小沢和秋 戸上省二 戸上栄子 三輪幸子 三輪俊和 諸岡昭三郎 村田孝英 中川絃子 桑田勲二 10月 清水義則 竹中労 丹下徹 野瀬秀洋 江本信義 佐多道人 渡辺末子 近藤春代 大庭勝紘 三崎英二 11月 末次美智 原田紀子 丹下徹 野瀬秀洋 上田義彦 上田秀子 12月 阿部陽子

メッセージ ●わずかですが、がんばって下さい。9/17 A.M ●夏は体調を悪くしてしまいました。涼しくなりましたのでエンジンかけて再始動です。少ない募金ですがよろしくお願いします。9/17 K.L ●「核の『抑止』言ひて恥づなき為政者よ原爆資料館の悲惨見つめよ」久しぶりに長崎の原水禁大会に参加しました。9/22 T.F ●いつもながらしょうがくですみません。9/22 O.K ●中塚先生の講演、感動をもって聞きました。久しぶりでした。ありがとうございます。10/5 S.Y ●些少で申し訳ありません。何か役立てて下さい。10/18 O.K ●カンパとして 11/1 S.M